授業科目		生活科学	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
				1 年次前期	1	講義・GW	15 時間
到	」 1. 健康に暮らすための生活環境について学ぶ						講師
達目標	2. 自己の生活について振り返り、健康につながる生活について考える						外部講師
授業計画							
1回	1回 1. 生活と環境						講義
	1)社	会の中での暮らし	2)四季	をと生活 3)地域と	と生活 3)地域と生活 4)生活と環境汚染		
2~3	~3 2. 家庭と生活						講義
旦	1)日常生活とは						GW
	2)食生活:食事の意義、栄養バランス、発達段階における食事緒の特						
	徴、季節や行事と食事、献立、食材の調達・保管、調理、配膳、片付け						
4 回	3)衣生活:整容、衣服の意義、衣服の選択、手入れ方法						講義
5 回	4))住生活:住まいと	生活:住まいとは、住まいに求められる機能、発達段階と住居、				
	掃除・収納・整理整頓						
6 回	回 5)経済生活:家庭の経済						講義
	6)ごみの処理:ごみの分別、リサイクル						
7 回	3.	3. 社会と生活					講義
	1)	1)社会生活におけるマナー					演習
8回	3 4. 生活と健康						講義
	1)生活が健康に及ばす影響						
	2)健康な生活						
まとめ							
評価方法		選択問題又は論述問題による筆記試験(80%)、レポート①(10%)、レポート②(10%)を					
		総合して評価する					
教科書		なし(講義時に資料を配布)					
参考書		生活科学 第6版 オーム社					
備考		予習においては、日常生活において衣・食・住・情報に関連した体験(洗濯・調理・掃除・					
		新聞を読むなど)をしておくことがのぞましい。復習においては講義資料・参考文献など					
		を用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					